



学生生活 Campus SEIJO

文芸学部 短期大学部 創設50周年特集号

No204



CONTENTS

文芸学部50周年を迎えて	2~3	黎明 (めーあ・りひと)	10
<small>文芸学部—ユートピア幻想</small>		<small>~夏休み~ アメリカの大学生編</small>	
短期大学部創設50周年	4~5	Campus Seijo News	11~13
<small>成城大学短期大学部創設50周年記念パーティ ~祝辞~</small>		Campus Seijo Information	14~15
夏季休暇中の合宿について	6	編集後記	16
平成16年夏季合宿一覧表	7~9		

文芸学部50周年を迎えて



1号館の中庭にて

文芸学部長 戸部 順一

昭和二十九年生まれの午年、人間に譬えれば文芸学部も今年で五十歳。この間に社会に送り出した学生の数は五桁をかなり超える。重鎮、大家と称せられ、その活躍が新聞、雑誌あるいはテレビを通じて聞こえてくる者の数も一人、二人ではない。たとえ世間の注目を浴びなくても、たまの同窓会に集まる顔を眺めると、誰もが立派に生活しているのが見えてくる。これ偏に我らが教育の賜

物、と云うほどの度胸も自惚れもないが、いくらかの貢献はしたはずだ、と眩くらしいの自負は持たせてほしい。一学部一学科で始まり、コースを増やすなどの工夫を凝らしながら、六学科制になってから凡そ三十年が経つ。創設五十周年という節目の年を迎えて、そろそろ何かしらの変化を思わぬわけでもないが、改革を目的とした改革に何程の意義があるのか。まずは学生の身になっての算段を考えねばと、思案を巡らす日が続いている。しかし、変えてはいけないのは、文芸学部らしさの教育を提供し続けることであろう。

50周年を機会に、今の文芸学部を知ってもらおうと、いくつかの記念事業が企画されている。先日は企画第一弾として「ホームカミング・デイ」があった。何年ぶりかでキャンパスを訪れた卒業生を、講演会とパーティーで歓迎した一日であった。学生だった頃と変わらぬ成城を見つめたのか、変わった成城を見つけたのか、感慨は人それぞれだろうが、皆さん、笑顔で帰宅してくれた。秋からはいよいよ「コミュニティー・カレッジ」が始まる。卒業生には、かつて通った学び舎にお戻りいただき、今の授業を体験してもらいたい。学ぶことの喜びは、二十歳の特権ではない。近隣の皆さんにも参加をお願いしている。キャンパス内にお越しいただき、外から眺めていただけの成城大学の、本当のところを知ってもらおうと考える。地域への貢献と言ったらおこがましいが、近隣の理解を得なければ、私どもは立ち行かない。「どの教室でも、参加者は知的興奮を味わえるはずだ」と胸を張って断言できる講座を準備した。「コミュニティー・カレッジ」の講師陣の熱意は、秋になったからといって冷めることはない。黒板を前にして受講生に語りかける教員の姿にこそ、今の文芸学部が凝縮している。いま一つ、高校生に向けた企画がある。「論文コンクール」と「写真コンクール」。この企画を通じて、私たちは今の高校生たちの隠れた（と言っては失礼か）才能を知ることになるだろう。私たちの呼びかけが縁となり、前途有望な若者たちが成城大学に、そして文芸学部に関心を持ってくれれば幸いである。学部創設から五十年。しかしその長き道程を振り返っているだけでは未来はない。次の五十年に文芸学部は何を為しえるのか、それを考える好機が今年である。

文芸学部 ホームカミング・デイ

6月26日（土）開催



撮影：堀内 圭子
(文芸学部)

文藝学部—ユートピア幻想

名誉教授 浅沼圭司

大学や学部の個性についてときに考えることがある--といっても、学生募集のパンフレットなどで謳いあげられているようなものではなく、あえていえばキャンパスに足を踏み入れた瞬間に直感される、雰囲気あるいは気分といったもの。もちろん、成城大学が、あるいは文藝学部がもっているはずの個性についても……。

安保闘争というものがあつた。日米安全保障条約締結にたいする反対運動であり、そこでは学生が主要な役割を演じていた。連日連夜国会議事堂前でデモが行われ、ある夜、ひとりの女子学生がデモ隊と機動隊の激しい衝突のなかで亡くなるという事件が起きた。その翌朝のこと、授業中の教室に、前夜のデモに参加したという数人の学生が、汚れきった服装のままではいつてきた--一人の頭に巻かれた包帯には血が滲んでいた。授業は当然中断せざるをえなかった。デモの最中に、指導者らしい学生らに「成城のブルジョワ学生か」と嘲られ、口惜しかったらもっと大胆な行動をしてみると煽動されたこと、嘲笑に耐え、煽動を無視したこと、混乱のなかを互いの無事を確認しながら逃げまわっていたことなど、口々に語ってくれた。

学生運動に参加しながら、その大勢に抗して自分の判断を保つことがいかにむずかしかったか、あるいはいま理解しがたいかもしれない。わたくしには、これらの学生が、自分をとり囲む世界に強い関心を抱きながらも、大勢に流されることなく、自分自身の観点から判断する力、言いかえれば常識や通念（ドクサ）から自由な判断力（良識）を、観念ではなく柔軟な感性によって--その意味では自然に--身につけているように感じられた。そして自然に身についた良識、それは一部のひとびとにかぎられた特殊なものではなく、そのころの文藝学部の学生に一般的にみられるものだった。

設立当時の文藝学部は一学科三コース制をとっていたが、芸術コースの主任であった相良徳三先生は、高校長を兼任されていたせいもあつてか、コースの運営に関するすべてを、人事に関することまで含めて、三十代なかばの上原和助教授と、三十才にまだ間がある新米講師のわたくしに委ねられた。このことは、相良先生が、そしてその方針を支持した学部教授会全体が、出身大学、身分、経歴、年齢などによる序列を重視する当時の大学の慣習（因習）から自由であつたことを意味するだろう。あのころの文藝学部には、いろいろな意味で多様な--見方によっては雑多とさえいえる--教員が集つており、日々侃々諤々の論議をくりひろげていた。それぞれがきわめて個性的な、しかしけつて排他的（不寛容）ではない--良識とはこのようなものだろう--ひとびとの集団だった。

学生と教員の自由（良識）のあいだにはたしかにちがいがあつた。しかしそれぞれの自由（囚われのなさ）が響きあい、かなり濃厚な雰囲気（気分）を形成していたし、そのなかで学生と教師は無理なく、ごく快適に共存していた。学生の甘えを指摘する声になかつたのではないが、学生と教師は、その良識と自由において同格だつたと思う。そしてそこから生じる雰囲気、それこそが文藝学部の個性というべきものだつたような気がする。

そのような個性など、いまどきの大学の実際とは無関係なものであり、かつての雰囲気といったところで、現在のきびしい現実には無用の、いやむしろ有害なものでしかなく、単なる懐古的な幻想にすぎないといわれるかもしれない。たぶんそうなのだと思う。しかし実際から退いた身に可能なのは、もはや回顧と内省でしかない。あのような個性（雰囲気）をもつた文藝学部は、いま、おそらくユートピアにすぎないのだから、なぜならそれは、わたくしの記憶のなか以外のどこにも存在しないのだから。

短期大学部創設50周年



2号館脇の大樹の下で

短期大学部部長 石鍋 真澄

文芸学部、同窓会と並んで、短期大学部も今年、創設50周年を迎えました。皆様もご承知のとおり、来年度の短期大学部学生募集が停止されますので、今年の新入生が最後の短大生となります。創設50周年の年と、完全な形で短期大学部最後の年が、奇しくも一致したことになります。

そんなわけで、私ども短期大学部のスタッフにとって、創設50周年はめでたくもあり、またほろ苦くもある、というのが正直なところですよ。

私は常々、短大は初等学校について、成城教育の精神が生きているところだと思ってきました。それは、成城教育を自ら経験した先生方が短大の創設に当たり、その基礎を築いたからだと思います。教養実習、研修旅行、そして副手制度など、短大らしさの現れである伝統は、今も生き続けています。

短大の教育は、教師も学生も、ともに（いい意味で）遊びながら、ヒューマニティと教養を身につけていこうとする、今ではほとんど失われつつある、優雅で余裕のある理想に基づいています。短期大学部の終焉が現実となった今、私どもは、このヒューマニティにあふれた短大を、ほんとうによい学校だったし、今もその伝統は生きている、と実感しています。けれども、こうした理想や伝統は、4年制大学志向や実学志向の前に、窮地に陥るようになりました。

短期大学部の改組転換の話はずいぶん前から検討されてきましたが、当初から、私どもは、短大の改組が成城大学全体の発展、ステップの切掛けとなるように願ってきました。すでにご承知の通り、来年の短大募集停止とともに、社会イノベーション学部（仮称）が創設されます。短期大学部教員の大半はこの新学部に移籍になります。新学部、そして成城大学全体に、短大が培ってきた成城精神による教育の経験が生かされることを願っています。

そんな次第で、私どもは特別な思いを抱いて、創設50周年の記念行事の準備に望みました。すでに5月29日（土）に東儀秀樹さんをお迎えして、第1回特別公開教養実習を開催しました。1200人以上の参加者があり、大成功のうちに終わりました。6月12日（土）には、お世話になった先生方や副手の皆さん、学園関係者、卒業生の方々などをお招きして、記念パーティー開きました。秋には、小澤征爾さんをお迎えして、第2回特別教養実習が開かれる予定です。

このほか、短期大学部史の編纂や、紀要の記念号の出版、それから再来年3月の最後の短大生卒業のさいには、卒業全員を招待するホームカミングデーの開催が予定されています。



大学講堂（2号館の前身）

短期大学部 創設50周年記念パーティー



創設50周年記念パーティーにおける石鍋部長のスピーチ



記念パーティーで配付した絵葉書
「2号館・中庭・学生」
清水真澄先生画

成城大学短期大学部創設50周年記念パーティー ～ 祝 辞 ～

名誉教授 中 村 道 子



中村道子先生の
愛情あふれるスピーチ

50周年、おめでとうございます。半世紀に渡り、紆余曲折がありながらも、素晴らしい教育を続けて来た成城大学短期大学部は、私の故郷でもあり、誇りでもあります。

終戦直後、占領時代に私は文部省の嘱託として、大臣、次官、局長の通訳をしていた仕事上、当時の文部次官の山崎匡輔先生の通訳をする機会がしばしばありました。その関係で、短大が出来るときに、成城の学園長・学長となられた先生に呼ばれ、短大で教えることになりました。それ以来、30年間、1984年まで、短大で授業を持つ幸運に恵まれました。

当時はまだ木造の校舎で、夏は汗をかきながら、冬は石炭ストーブを焚きながらの授業でした。教授会といっても、それらしきものは坂本浩先生が学部長になられて初めて定期的に行われるようになり、その時は坂本先生を入れて6人位でした。その中から、今日も短大が誇りにする教養実習が、富永次郎先生と池辺弥先生を中心に生まれました。先日第933回の教養実習に参加して、感無量でした。

教養実習には各方面から、一流の講師をお招きし、学生のみならず、私共教師も多く学び、感動したり、興奮したりしたものです。人間は感動することが大切です。「長生きする秘訣は毎日感謝と感動することです」とある方が言われました。例えそれが、新鮮な風が吹いてきたとか、木々の花が咲いたとか、子供の愛らしい笑顔を見たとか、一寸したことで、感動する人は幸せだと思います。短大で学んだ学生、短大で教えた私も教師も、一体感を持ちながら、そういう雰囲気の中で、お互いに成長したと思うこと頻ります。

教養実習だけではありません。色々な種類の旅行～入学旅行、北海道旅行、研修旅行、追分での夏のセミナー、その他に文化祭への短大としての参加、発表会を通じて、知識のみの教育ではなく、学生の発想を重んじながら、企画・運営など、自ら参加して学ぶ貴重な体験が得られたことと信じます。担当に当たった教師もまた、学生との交流を深めるよい機会を持つことが出来ました。

学園の財政が豊かではないために、短大生の発案で、文化祭に食堂（おにぎり、おでんなど）やバザーを行い、その売り上げで、学生たちが必要としていたロッカーを備えることが出来ました。他学部の学生はそれを非常に羨ましく思っていました。この経験を通して、自助努力の尊さを学んだことと思います。

当時としては革新的な、innovative な教育を短大は行なっていたと思います。他から批判されたこともありましたが、それが、今ではどこにでも見られるようになりました。短大の50周年を迎え、遠くから短大はなくなりますが、短大の卒業生はこれで学園との縁が切れたわけではありません。成城学園の同窓会は健在で、今まで通り皆様を歓迎しています。同窓会の集まりには是非参加ください。短大がなくなり、次には大学に新しく社会イノベーション学部の発足が予定されています。私と致しましては、短大がなくなることは大変淋しいですが、時代の流れには逆らうことは出来ません。然し、成城短大の innovative な精神が来るべき社会イノベーション学部に、大胆に、力強く、引き継がれることを期待しています。短大の卒業生はきっと夫々の立場で社会の輝く存在であることを信じながら、現短大の先生方、学生たち、そして卒業生たちのご多幸を心からお祈りします。

夏季休暇中の合宿について 《学生部》

～保護者の皆様へ～

学期末定期試験が終わり夏季休暇に入ると、ゼミナール、文化部連合（31団体）、体育部連合会（38団体）、特別機関（4団体）、経済・文芸・法学部部会所属研究団体、さらにサークルとして活動している団体等の学生が全国で合宿を行います。

各団体が、キャンパス内での学習および活動から学外へと環境を変え、計画的な合宿生活を送ることになりますが、教員や友人の人間性とふれあうこと、あるいは監督・コーチ、先輩等の指導のもとに、集団生活の中で知識や技術の向上をはかることを目的とする合宿活動は、協調性や忍耐力、責任感を養い、計り知れない多くの成果が期待されます。これらの活動に対し、本学は全面的に支援し、それぞれの合宿が無事に行われるよう、以下のような指導体制で臨んでいます。

本学の課外活動は顧問制

本学公認の課外活動団体はすべて顧問制をとり、顧問の指導・助言のもと、都合のつく限り顧問が同行して合宿を実施しています。

合宿届の提出（合宿先および日程は7～9頁に掲載）

合宿に際しては、原則として7月9日までにゼミナールは指導教員の、各クラブは顧問教員の下承を得て、学生部に合宿届（参加者氏名・合宿期日・場所等を明記）と、計画書を提出します（体育部連合会所属団体は体育科にも提出）。また、文・体連、各学部部会の組織に属さない、いわゆるサークルの合宿についても、学生部に合宿届を提出させています。これらの団体にも、公認団体と同様、学生部において必要な指導・助言を行います。

保護者同意書の提出

合宿には、原則として顧問が都合のつく限り同行することになっていますが、同行のない場合、または必要と思われる各部については、保護者の同意書をいただいたうえで合宿を許可しています。同意書の提出については、各家庭において、お子様の活動について明確に知りおいていただくためのものです。

合宿前ガイダンスの実施

夏季合宿の無事遂行を願って、毎年合宿実施前にガイダンスを実施しています。本年度も7月22日に学生部長、文・体連顧問、保健担当委員、各団体の学生責任者が一堂に会し合宿時の注意や伝達などを、以下のとおり行いました。

◎合宿時の健康管理

- ・熱中症の予防と応急処置／怪我の応急処置／緊急を要する怪我等の対応etc…資料配付および説明
- ・救急薬品について…各団場で学生部に申し込めば、応急処置のできる範囲の薬品箱を無料で配付
- *全学生が受検する年1回の健康診断の他に、夏季合宿前に健康診断（心電図、血圧、検尿、医師による問診など）を体連各役員およびその他必要のある部員対象（本年度受検者…809名）に実施しております。これにより身体的に無理と診断された学生には、合宿参加を中止させることもあります。今年度は、身体的異常がみられ、合宿をとりやめるように校医より指示を受けた学生はおりませんでした。

◎万一事故等の緊急事態が発生した場合：不測の事故等が発生した場合は、責任者が学生部に連絡をとる。

なお、本学では、全学生を対象にして「学生教育研究災害傷害保険」に加入しておりますので、手続きに漏れがないよう学生部と緊密な連絡をとるよう指導しています。

◎合宿終了の連絡：合宿が終了した時点で、責任者が必ず学生部に報告する。

学生部：03-3482-9081 / 学園正門案内所：03-3482-1452（時間外）

以上のようなことに重点をおいて指導・助言を行っておりますが、保護者の皆様もお気づきの点やご希望、不明な点等がありましたら、学生部に遠慮なくご連絡ください。学生部といたしましても、各団体が無事に、合宿の目的を達成できるよう心から願っております。

平成16年度夏季合宿一覧表—No.1

◎ゼミナール等

(平成16年7月20日現在)

No.	団体名		合宿日程	参加学生数			担当教員	参加数 教員	参加責任者		合宿地および連絡先
	学部等	ゼミナール名		男	女	計			所属	氏名	
1	経済	斉藤	7/25～7/28	10	11	21	斉藤 昭雄	同左	経2K	田原小夜加	伊勢原合宿所 0463-93-0771
2	文芸	毛利	7/28～7/29	1	9	10	毛利 三彌	同左	文4C	中村奈津希	伊勢原合宿所 0463-93-0771
3	法学	中村	8/16～8/18	16	2	18	中村 肇	同左	法2B	濱野 大樹	白樺荘 0267-45-5549
4	法学	中村	8/30～9/1	9	11	20	中村 肇	同左	法3B	山田 高広	静岡県下田市柿崎海岸 下田シーサイドホテル 0558-22-1886
5	文芸	田中	8/31～9/2	4	19	23	田中 宣一	同左	文3D	阿比留咲子	岩手県 平泉・遠野 平沢屋 0198-62-3060
6	文芸	小林(真)	9/3～9/5	5	22	27	小林真由美	同左	文3A	小島 侑子	京都府京都市中央区堺町 こうろ 075-221-7807
7	大学院	斉藤	9/3～9/5		3	3	斉藤 昭雄	同左	院前2	友野 宏美	栃木県那須郡那須町芦野 グリーン・ウッド 0287-74-0211
8	法学	打越	9/9～9/10	7	2	9	打越 綾子	同左	法3E	齋藤 真彦	長野県軽井沢町南ヶ丘 田中別荘 0463-93-0771
9	文芸	杉本	9/17～9/19	3	18	21	杉本 豊久	同左	文3B	杉山 友理	伊勢原合宿所 0463-93-0771
10	文芸	青木	9/18～9/19	1	13	14	青木 健	同左	文3B	大山 梓	伊勢原合宿所 0463-93-0771
11	短大	宮沢	9/20～9/21	0	19	19	宮沢 栄次	同左	短2E	影島 里香	伊勢原合宿所 0463-93-0771
12	文芸	工藤	9/21～9/22	7	4	11	工藤 力男	同左	文3A	久下沼和樹	伊勢原合宿所 0463-93-0771
13	法学	原田	9/21～9/23	6	13	19	原田 剛	同左	法3B	村尾 英恵	千葉県長生郡白子町中里 ホテルニュー・カネイ 0475-33-2511

◎特別機関・各学部部会所属研究団体・総務会内委員会

No.	団体名	合宿日程	参加学生数			担当教員	参加数 教員	参加責任者		合宿地および連絡先
			男	女	計			所属	氏名	
1	文学研究会	7/30～7/31	4	8	12	木村 建哉	同意書 提出済	文3A	鈴木和歌子	伊勢原合宿所 0463-93-0771
2	応援団チアリーダー部	8/14～8/17	0	8	8	上野 英二	同意書 提出済	文3B	橋本 真澄	新潟県南魚沼郡湯沢町三国 欧風民宿 ティアン 025-789-5783
3	放送部	8/24～8/28	22	37	59	西居 淳子	同意書 提出済	文3B	藤田 侑	新潟県南魚沼郡湯沢町三国 御宿本陣 025-789-2012
4	会計学研究会	9/5～9/9	15	12	27	篠原 光伸	同意書 提出済	経3G	矢野 武浩	白樺荘 0267-45-5549
5	司法試験勉強会	9/15～9/17	13	9	22	今野 裕之	同意書 提出済	法3A	川上 恵莉	栃木県那須郡那須町湯元 翠名館 0287-76-2180

◎文化部連合

No.	団体名	合宿日程	参加学生数			担当教員	参加数 教員	参加責任者		合宿地および連絡先
			男	女	計			所属	氏名	
1	レストロ・アルモニコ管弦楽団	8/15～8/18	6	21	27	臼井 英之	同意書 提出済	文3B	深澤 ルリ	山梨県北巨摩郡高根町清里 伊予ロッヂ 0551-48-2334
2	広告研究会	8/30～9/1	22	20	42	堀内 圭子	同意書 提出済	経3C	富永 一城	富望荘 0470-33-2991
3	写真部	9/6～9/9	11	18	29	千足 伸行	同意書 提出済	文3B	齋藤 洋介	沖縄県国頭郡恩納村谷茶 リゾートパークホテル谷茶ベイ 098-965-2255
4	E. S. S.	9/17～9/19	10	18	28	杉本 豊久	同意書 提出済	法2C	桑原 麗奈	栃木県那須郡那須町湯元 翠名館 0287-76-2180

◎体育部連合会

No.	団体名	合宿日程	参加学生数			担当教員	参加数 教員	参加責任者		合宿地および連絡先
			男	女	計			所属	氏名	
1	ライフセービング (活動準備団体)	7/17～9/2	6	4	10	手塚 公登	同意書 提出済	経3L	雨宮 太郎	伊豆・下田他
2	体育部連合会本部	7/24～7/25	18	14	32	妹尾江里子	同意書 提出済	法4D	荒本 大輔	伊勢原合宿所 0463-93-0771
3	馬術部	7/26～9/24	2	8	10	戸部 順一	同意書 提出済	文4D	久永真由美	伊勢原合宿所 0463-93-0771
4	男子ゴルフ部	7/27～7/30	10	0	10	斎藤 忠志	同意書 提出済	経4J	神田 周永	栃木県芳賀郡茂木町大字茂木 ホテル若葉 0285-63-0148

平成16年度夏季合宿一覧表-No.2

◎体育部連合会（続き）

No.	団体名	合宿日程	参加学生数		担当教員	参加数 教員	参加責任者		合宿地および連絡先	
			男	女			計	所属		氏名
5	硬式庭球部（女子）	7/27～7/31	0	9	9	伊藤 信二	同意書提出済	法4A 杉田 裕美	長野県北佐久郡軽井沢町増田別荘 090-3331-3127	
6	サッカー部	7/30～8/2	31	7	38	大隈 宏	同意書提出済	経4F 守田 正治	伊勢原合宿所 0463-93-0771	
7	ワンダーフォーゲル部	7/30～8/4	6	7	13	小島 孝夫	同意書提出済	文3B	加藤由香里	山域 飯豊山（福島・山形）
										切合小屋
										御西小屋
										門内小屋
									飯豊山荘	
8	女子ラクロス部	7/31～8/2	0	15	15	斎藤 忠志	同意書提出済	文4B 古橋 尚子	伊勢原合宿所 0463-93-0771	
9	ヨット部	7/31～9/22	10	7	17	岩本 修巳	同意書提出済	経4H 川崎 貴之	神奈川県藤沢市片瀬海岸 都立大学合宿所 0468-75-1861	
10	男子バスケットボール部	8/1～8/7	13	6	19	篠原 光伸	同意書提出済	法4H 守田 和也	福島県石川郡古殿町大字松川 喜楽亭 0247-53-2016	
11	硬式野球部	8/2～8/8	30	4	34	浅井 良夫	同意書提出済	経4E 大野 豪	伊勢原合宿所 0463-93-0771	
12	女子ゴルフ部	8/3～8/6	0	8	8	斎藤 忠志	同意書提出済	文4B 宮本 亜美	栃木県矢板市平野 矢板カントリークラブ 0287-44-1121	
13	硬式庭球部（男子）	8/3～8/7	19	0	19	伊藤 信二	同意書提出済	文4C 赤坂 大樹	伊勢原合宿所 0463-93-0771	
14	男子ラクロス部	8/4～8/8	37	8	45	斎藤 忠志	同意書提出済	法4F 末永 伸光	伊勢原合宿所 0463-93-0771	
15	女子バスケットボール部	8/6～8/11	0	13	13	妹尾江里子	同意書提出済	経4F 田中紗希子	長野県小県郡武石村下武石 太田屋旅館 0268-85-2028	
16	ラグビー部	8/8～8/11	21	8	29	岩本 修巳	同意書提出済	経4D 南波佐間雄太	伊勢原合宿所 0463-93-0771	
17	硬式庭球部（女子）	8/8～8/12	0	18	18	伊藤 信二	同意書提出済	法4A 杉田 裕美	伊勢原合宿所 0463-93-0771	
18	男子ゴルフ部	8/10～8/12	10	0	10	斎藤 忠志	同意書提出済	経4J 神田 周永	栃木県芳賀郡茂木町大字茂木 ホテル若葉 0285-63-0148	
19	男子グランドホッケー部	8/10～8/13	23	9	32	山口 一臣	同意書提出済	法4F 淡輪健一郎	山梨県南アルプス市百々 B&G海洋センター合宿所 055-285-4700	
20	女子タッチフットボール部	8/11～8/16	0	26	26	小澤 正人	同意書提出済	文3B 山田 祥子	静岡県磐田郡竜洋町掛塚 うなやす 0538-66-2099	
21	女子グランドホッケー部	8/11～8/17	0	19	19	山口 一臣	同意書提出済	文4E 堀 仁美	富山県小矢部市浅地字浄土寺 小矢部市サイクリングターミナル 0766-61-3596	
22	サッカー部	8/12～8/16	31	7	38	大隈 宏	同意書提出済	経4F 守田 正治	伊勢原合宿所 0463-93-0771	
23	水泳部	8/13～8/16	13	4	17	伊藤 信二	同意書提出済	法4G 清水 宏彦	新哲士寮 03-3484-4175	
24	硬式庭球部（男子）	8/14～8/18	19	0	19	伊藤 信二	同意書提出済	文4C 赤坂 大樹	伊勢原合宿所 0463-93-0771	
25	男子バレーボール部	8/14～8/18	11	0	11	田中 誠一	同意書提出済	経3I 片山 貴人	新哲士寮 03-3484-4175	
26	洋弓部	8/14～8/22	9	22	31	吉原健一郎	同意書提出済	法3H 大江 有治	長野県下高井郡木島平村 はまゆう 0269-82-3852	
27	女子ゴルフ部	8/16～8/17	0	8	8	斎藤 忠志	同意書提出済	文4B 宮本 亜美	栃木県宇都宮市上横倉町 サンヒルズカントリークラブ 028-665-4111	
28	女子ゴルフ部	8/17～8/19	0	8	8	斎藤 忠志	同意書提出済	文4B 宮本 亜美	茨城県西茨城郡友部町旭町 シティホテル友部 0296-78-0101	
29	スキー部	8/18～8/25	2	0	2	油井 雄二	同意書提出済	文4A 丸山 善之	北海道上川郡朝日町中央 山村研修センター 01652-8-2339	
30	女子バレーボール部	8/19～8/22	0	14	14	田中 誠一	同意書提出済	経3D 倉橋 秀沙	新哲士寮 03-3484-4175	
31	サッカー部	8/20～8/24	31	7	38	大隈 宏	同意書提出済	経4F 守田 正治	伊勢原合宿所 0463-93-0771	
32	バドミントン部	8/20～8/26	7	9	16	上野 英二	同意書提出済	文3D 坪井 巨樹	山形県山形市蔵王温泉 蔵王ハイツ 0236-94-9357	
33	男子バスケットボール部	8/23～8/25	13	5	18	篠原 光伸	同意書提出済	法4H 守田 和也	新哲士寮 03-3484-4175	
34	男子グランドホッケー部	8/25～8/30	23	8	31	山口 一臣	同意書提出済	法4F 淡輪健一郎	福島県東白川郡棚倉町 入野宿市川屋 0247-33-3039	

平成16年度夏季合宿一覧表－No.3

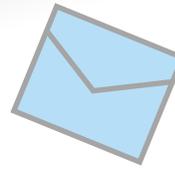
No.	団体名	合宿日程	参加学生数			担当教員	参加数 教員	参加責任者		合宿地および連絡先	
			男	女	計			所属	氏名		
35	剣道部	8/25～8/30	15	7	22	篠川 賢	同意書 提出済	経3H	築田 智晶	福島県南会津郡伊南村 須賀屋	0241-76-2253
36	男子バレーボール部	8/26～8/30	11	0	11	田中 誠一	同意書 提出済	経3I	片山 貴人	新哲士寮	03-3484-4175
37	ワンダーフォーゲル部	8/26～9/2	3	5	8	小島 孝夫	同意書 提出済	文3B	加藤由香里	山域 北岳・甲斐駒(長野)	
										北沢長兵衛小屋	055-288-2112
										仙丈小屋	0265-98-3130
										両俣小屋	055-288-2112
										北岳肩ノ小屋	055-288-2421
熊ノ平小屋	0547-46-4717										
塩見小屋	0265-98-2889										
38	アメリカンフットボール部	8/27～8/30	37	13	50	相原 章	同意書 提出済	経4J	池田 諭	伊勢原合宿所	0463-93-0771
39	弓道部	8/27～9/1	12	18	30	上野 英二	同意書 提出済	経3C	関口 卓哉	中頸城郡妙高村大字関山 学芸大附属高校教育研究所	0255-82-2325
40	硬式野球部	8/28～8/30	30	4	34	浅井 良夫	同意書 提出済	経4E	大野 豪	伊勢原合宿所	0463-93-0771
41	女子バスケットボール部	8/29～9/1	0	13	13	妹尾江里子	同意書 提出済	経4F	田中紗希子	新哲士寮	03-3484-4175
42	ラグビー部	8/30～9/1	21	9	30	岩本 修巳	同意書 提出済	経4D	南波佐間雄太	伊勢原合宿所	0463-93-0771
43	硬式庭球部(女子)	8/30～9/2	0	18	18	伊藤 信二	同意書 提出済	法4A	杉田 裕美	伊勢原合宿所	0463-93-0771
44	男子アイスホッケー部	8/31～9/3	11	0	11	塩川 千尋	同意書 提出済	経3G	虎岩 佑典	伊勢原合宿所	0463-93-0771
45	女子ゴルフ部	8/31～9/3	0	10	10	斎藤 忠志	同意書 提出済	文4B	宮本 亜美	栃木県宇都宮市上横倉町 サンヒルズカントリークラブ	028-655-4111
46	陸上競技部	9/1～9/5	13	3	16	桑原 康行	同意書 提出済	法3F	大橋 克矢	伊勢原合宿所	0463-93-0771
47	女子グランドホッケー部	9/3～9/5	0	19	19	山口 一臣	同意書 提出済	文4E	堀 仁美	伊勢原合宿所	0463-93-0771
48	女子タッチフットボール部	9/3～9/5	0	24	24	小澤 正人	同意書 提出済	文3B	山田 祥子	伊勢原合宿所	0463-93-0771
49	合気道部	9/3～9/9	21	29	50	木綿 良行	同意書 提出済	経4A	宮地 政之	千葉県山武郡大網白里町 タイヨースポーツセンター	0475-77-2311
50	空手道部	9/4～9/8	15	10	25	林田 伸一	同意書 提出済	経4B	藤澤 崇	長野県飯山市斑尾高原 ドゥ・スポーツプラザザ尾	0269-64-3533
51	女子バレーボール部	9/5～9/8	0	15	15	田中 誠一	同意書 提出済	経3D	倉橋 秀沙	新哲士寮	03-3484-4175
52	硬式庭球部(男子)	9/6～9/9	19	0	19	伊藤 信二	同意書 提出済	文4C	赤坂 大樹	伊勢原合宿所	0463-93-0771
53	スキー部	9/11～9/14	7	3	10	油井 雄二	同意書 提出済	文4A	丸山 善之	長野県下高井郡野沢温泉 藤屋旅館	0269-85-2103
		9/14～9/18								成城学園 大極荘	0261-72-2176
54	アメリカンフットボール部	9/17～9/20	37	13	50	相原 章	同意書 提出済	経4J	池田 諭	伊勢原合宿所	0463-93-0771
55	女子タッチフットボール部	9/18～9/20	0	25	25	小澤 正人	同意書 提出済	文3B	山田 祥子	伊勢原合宿所	0463-93-0771

◎サークル等

No.	団体名	合宿日程	参加学生数			参加数 教員	参加責任者		合宿地および連絡先	
			男	女	計		所属	氏名		
1	学生有志	7/28～7/29	20	32	52	同意書 提出済	経2G	森 峻介	伊勢原合宿所	0463-93-0771
2	学生有志	8/6～8/8	9	7	16	同意書 提出済	経3G	平林 佑介	伊勢原合宿所	0463-93-0771
3	学生有志	8/12～8/14	4	9	13	同意書 提出済	経4D	安東 太	伊勢原合宿所	0463-93-0771
4	成城アイドルフェローズ	8/17～8/22	28	42	70	同意書 提出済	経3G	平林 佑介	山梨県南都留郡河口湖町船津 N A B Eの家	0555-73-2251
5	ジャイアンとマヒコ	8/19～8/20	12	0	12	同意書 提出済	文3D	松本 順平	伊勢原合宿所	0463-93-0771



～夏休み～
アメリカの大学生編



黎明

経済学部助教授 山重芳子（経済学・国際経済学）

学生の皆さんは、クラブやサークルの合宿や、アルバイト、旅行など、もうすでに、いろいろな夏休みの計画を立てたことでしょうか。2ヶ月近くある長い夏休み。まだ、予定が埋まっていない人の参考になればと、その昔私が留学していたアメリカの大学での夏休み事情を紹介したいと思います。

アメリカの大学のキャンパスでは、学期が終わると（これは学年の終わりでもありますが）、学生の大移動が見られます。大部分の学生が寮生活を送っているのですが、夏休み期間中は寮を出なければなりません。試験勉強をしながら荷造りを始め、試験が終わるとすぐ部屋の荷物をまとめて寮を出ていくのです。試験の最終日ともなると、あちこちで引っ越しが行われ、車が列をなして寮の回りに止まり、そこで友達と涙のお別れ、といった光景が見られます。

日本より長い3ヶ月近くもある夏休みを、アメリカの大学生の多くはキャンパスの外で過ごすこととなりますが、家に帰ってゆっくりするだけでは勿論ありません。インターンをする、サマースクールに行く、あるいは語学研修や、短期留学をする人が多いようです。最近では、日本でもインターンをする学生が増えているようですが、東海岸にある大学では、約6割の学生が夏休み中にインターンをしていると、話に聞いたことがあります。将来希望する仕事を見据えてインターン先の会社を選ぶため、国土の広いアメリカでは自宅から通うことは出来ず、下宿をしながらインターンをする人も珍しくありません。

日本と異なるのが、サマースクールの制度でしょうか。サマースクールでの単位が、他大学のものであっても所属する大学の卒業単位に認定されるという制度があって、成績が悪くて卒業が遅れそうな人は特に、サマースクールに行くようです。アメリカの大学では、1科目分の単位を取るためにこなさなければいけないリーディングや宿題などの勉強量が成城大学の場合より格段に多く、1学期に4科目も履修すれば、毎日曜日には1日図書館で勉強しないとついていけないくらいの勉強量になりますから、夏休み中にいくつか単位を取っておくと、後が随分楽になるのです。しかし、理由はそれだけではありません。中には、経済的にもしっかり計算をして、サマースクールでの単位を使って、複数の専攻分野の学位を取って卒業しようと作戦を立てている人もいます。私大の場合、年間3万ドル近い学費プラス生活費を払って大学に行っているのに、その巨額な自分への“投資”に対する“リターン”をシビアに考えているのでしょうか。

旅行や合宿に行くためにはお金があるので、とりあえずアルバイト、というのが、私の学生時代の夏休みでしたが、アメリカの学生は私とは違った考え方で夏休みの過ごし方を決めているようです。この考え方の違いを、経済学的に説明すると・・・グラフを使い出して、長々と説明をしてしまいそうなので、ここで止めておきます。どうぞ、皆さん良い夏休みを。



平成16年度 成城大学・成城大学短期大学部特待生について

平成16年度本学特待生として、本学学部2年生以上・短期大学部2年生に在籍している学生を対象に、人物・学業ともに優秀な者を選出し、下記のとおり決定しました。

7月8日（木）に大学2号館会議室において表彰式が開催され、各学部長、短期大学部部长、学生部長ならびに大学事務局長出席のもと、我妻学長より特待生に対し表彰状が授与されました。

～平成16年度特待生～

経済学部	
2年E組	綾部 智行
2年H組	秋山 美樹
2年K組	安藤 由紀子
3年D組	佐々布 建
3年I組	小林 麻衣
3年K組	濱松 麻衣
4年A組	中西 麻衣
4年G組	小泉 志穂
4年K組	木村 圭江

文芸学部	
2年D組	筑紫 紀門
2年F組	田中 杏奈
2年F組	中瀬 仁美
3年B組	寺嶋 真美
3年D組	赤堀 由佳
3年D組	佐々木 真美
4年A組	蒲谷 いずみ
4年B組	芳賀 真希子
4年D組	今野 大輔

法学部	
2年C組	岡部 祐子
2年F組	宮本 英子
3年B組	石田 瑠美
3年F組	佐藤 公哉
4年A組	坂内 英明
4年A組	米永 雄慶
短期大学部	
2年C組	大出 晃代
2年C組	小倉 真依

この度は特待生に選んでいただきまして非常に光栄に思っております。自分のやるべきことをコツコツとやった結果、特待生に選ばれたことは非常に自信になりました。来年、私は就職しますが、今後も努力を怠らず、大学生活で得た多くのことを土台にさらに自分自身を成長させていきたいと思っております。

法学部 米永雄慶



表彰式後、表彰状を胸に記念撮影

～表彰者のコメント～

3年連続特待生となったお二方にコメントをいただきました。

この度は特待生に選んで頂き、大変光栄です。学生生活において、このような成果を得ることが出来たことに嬉しく思っています。今後も、この事を励みとし、何事にも後悔のないよう一層の努力をしてゆこうと思っております。そして、卒業までの一日一日を大切に、有意義な学生生活を送ってゆきたいと思っております。

経済学部 木村圭江

川上宏奨学基金について

この奨学基金は、故川上宏教授（文芸学部マスコミュニケーション学科：平成6年逝去）のご遺志により、その寄付金を基に平成9年度から設立されたものです。給付対象は、文芸学部マスコミュニケーション学科及び大学院文学研究科コミュニケーション学専攻の在籍学生で、今年度は7名の応募者がありましたが、選考委員会の審議を経て、下記の方が受給者に決定しました。

文芸学部マスコミュニケーション学科4年 楠田友美

研究題目「報道と人権～ハンセン病報道から考える～」

なお、去る7月12日に給付式が行われ、川上夫人から本人に奨学金が授与されました。



快挙！ 女子グランドホッケー部 1部リーグ昇格！

2004年4月18日～6月27日に行われた春期関東学生ホッケーリーグにおいて、私達女子グランドホッケー部は2部リーグ優勝、さらには入替戦にも勝利し、1部リーグ昇格を果たしました。

昨年秋まで3部リーグに所属していた我が部は、冬にリーグの再編成が行われた為に2部リーグへ自動昇格し、今年の春期リーグは2部最下位からのスタートでした。2部リーグは8校で編成されており、それを4校ずつAプール、Bプールという2つのグループに分け、それぞれのプール優勝校が優勝決定戦を行い、2部リーグの優勝、準優勝が決定されるというもので、優勝校は1部リーグの最下位校と、準優勝校は1部リーグの7位との入替戦出場権を得られます。

私達は1部昇格を目標に丸となり、日々厳しい練習に励み、4月から始まる春期リーグに挑みました。初戦は4月18日、対東洋英和戦。この試合は惜しくも0-1で破れてしまいました。しかし、5月3日の対横浜市立大学戦では4-0、5月9日の対フェリス女学院大学戦では8-0で勝利し、優勝決定戦・入替戦出場権を賭けた5月22日の対津田塾大学戦では、延長戦の結果、執念でVゴールを叩き込み2-1で勝利、出場権を勝ち取りました。翌5月23日に2部リーグ優勝決定戦が行われ、相手校は強豪・東海大学でしたが、数少ないチャンスをものにして1-0で勝利、2部リーグ優勝校として6月27日に武蔵大学との入替戦へ挑みました。苦戦は必至でしたが、成城は自慢のチームワークを武器に丸となって戦い、後半に1点を奪い取って武蔵大学の猛攻に耐え抜き、遂に1部昇格を果たしました。



1部昇格を決め、嬉し涙にくれる部員達。
この結果、小幡さんと小澤さんが東日本選抜の選手として全日本大学ホッケー東西対抗に参加しました。

今後も更なるチームの向上を目指し、部員丸となって頑張ります。

報告：女子グランドホッケー部 木村 紀子（文芸3年）

第55回四大学運動競技大会一般種目予選結果

来る10月22日から武蔵大学にて行われる四大戦の一般種目学内予選が、5～7月にかけて行われ、本戦出場チームが下記のとおり決定しました。最大23チームがエントリーしたサッカーは、伊勢原と成城の2ヶ所で予選を行い、大熱戦が展開されました。今大会は、武蔵大学キャンパスにて行われますが、次年度56回大会は本学が当番校となり開催の運びとなっています。総合優勝するには正式種目はもとより、この一般種目の頑張りも何よりも必要となりますので、今年から一般種目参加の諸君の健闘を期待するものです。なお、一般種目での優勝者には昨年度より「学生活動奨励賞」が贈られることになりました。また、10月には一般種目参加選手を集めて壮行会が開催される予定です。

報告：四大戦推進局員 辻本 尚平（経済3年）

屋内予選結果		
バスケットボール	男子A	嵐
	男子B	レッドホース
	男子C	コア
	女子	レッドホース
バレーボール	男子A	ティモンズA
	男子B	ティモンズB
	男子C	ブリーズ
	女子A	ティモンズA
バドミントン	男子A	petit☆chocolate
	男子B	チーム田島
	女子	波乗りミナー
	男子シングルスA	西武線
卓球	男子シングルスB	武長
	男子ダブルスA	翔太のやす
	男子ダブルスB	
	女子ダブルス	JAM
	混合A	山下県

屋外予選結果		
サッカー	A	莓みるくオブジョイトイ
	B	F.C.CARIOCA A
軟式野球	A	ドジャースB
	B	レフォンサーA
ソフトボール	男子A	山タフ
	男子B	厚生部
	男子C	唐木田少年愚連隊
	女子	無問題
硬式庭球	男子ダブルスA	はっCー
	男子ダブルスB	山崎勇隊
	男子ダブルスC	レア
	女子ダブルスA	福地におまかせ
	女子ダブルスB	カテキン☆
	女子ダブルスC	LUCIA
	混合A	八木
	混合B	アミノ式
軟式庭球	男子ダブルスA	ホイコーロー
	男子ダブルスB	藤澤、米永組
	女子ダブルスA	マリミュ
	女子ダブルスB	ライオンキング

復活！六月祭!!

数年ぶりに六月祭を復活させようと思ったのは、去年の12月でした。年々パワーアップしている文化部の活動を、より多くの人に見せられたら。学内での認知度が決して高いとは言えない団体さんに、大きな発表の機会を提供できたら。そして何より、ひとつ新しいイベントを打ち立てることで、大学に新しい伝統をつくれたら。そんなところから思いつきました。

集客数は、同日開催されたオープンキャンパスに来た受験生を中心に延べ700人ほど。この辺のことなどを考えても、はじめに思い描いていたものが100%実現できたとは、言えないかもしれません。しかし、これを大学の伝統にするための下地は、なんとかできてきたと思います。

まったくなにも無いところからこのイベントを始めたことで、見えてきた課題、それに対する対策があります。これらのことを踏まえて、次の代を担う本部員には、さらに面白い、さらにかっこいいイベントを作ってもらいたいです。

また、イベント運営にあたり、休みを割いて参加してもらった大学祭実行委員会の皆様をはじめとして、数多くの方のサポートをいただきました。厚く御礼申し上げます。参加してもらった各団体の皆様にも頭が下がる思っています。成城大学文化部連合が、もっと強くなったらいいと思います。

報告：文化部連合本部 総務 向 風見也（文芸3年）

SEIJO
JUNE
FES.04

六月祭：contents

2004.6.20

中庭

公演…ダンス部
狂言研究会
冊子配布…古美術鑑賞会
漫画研究会
文芸部
サイクリング部

体験形式の展示…華道部

1号館

(学生ホール)

展示…写真部

2号館

(002)

上映会…映画研究部

B1F 展示…美術部

漫画研究会
写真部

1F プラネタリウム…天文研究会

2F 展示…書道愛好会
旅行部

7号館

広告研究会
(映像作品)

ミニ釣堀…釣部

年に1度の大規模な音楽祭

この6月17日、五十周年記念講堂で文化部連合本部主催による「合同ライブ」が開催されました。参加したのはアメリカ民謡研究会、ギター部、軽音楽部の3団体から計6バンド。当日は300人近くの学生が来場し、個性ある3団体の演奏に盛り上がっていました。

合同ライブは昨年約30年振りに復活したイベントで、盛況だったため毎年の恒例行事にしようという動きが高まっています。今年の合同ライブは出演者・関係者の意識が高く、去年に比べ演出の質も高くなった印象がありました。

また、新しい試みとして各3団体の部員でバンドをひとつ組むという「コラボレーションバンド」や、来場者の投票によって決まったバンドが再び演奏するという「アンコールバンド」という企画も始まり、観客を大いに楽しませていました。しかし、合同ライブはまだ学内での認知度が低く、なかなか客を集められないのが現状です。

合同ライブは文化部の活動を活性化させる意味でも、成城大学のひとつの「顔」として定着させる価値のあるイベントです。そのためには今後、大規模に長期的な広報活動を行うことが重要であると思います。

報告：文化部連合本部 副総務 穴井 智史（文芸3年）

アンコールバンドは

「肉」

お客様の投票で選ばれました。

合同ライブ参加バンド

- Earth music (ギター部)
- 肉 (軽音)
- 裸体。 (アメ民)
- Violet Summit (ギター部)
- 長崎大学 (軽音)
- パーティコー (アメ民)

～★夏の風物詩“七夕を楽しむ”★～

「夏の風情を楽しみながら、自分の願いや想いを短冊に綴って七夕飾りに託してみませんか？」という学生相談室の呼びかけで、6月25日から7月7日までの間、3号館1階に笹が立ちました。自分の願いを真剣に考える人、物欲しか浮かばない～いと叫んでいる人、人知れず笹に想いを結んでいる人、人の願いに興味を持っている人…、願いは様々、楽しみ方もそれぞれでしたが、最終日には、短冊を結ぶ場所がないほどで、願いの重みで笹はしなっていました。季節を楽しみつつ自分の願いを考えてみる、字に表してみるというこの企画、来年は何を書こうかなという声も聞かれ、大好評でした。



鈴なりの願い。男子も大喜び!



Campus Seijo Information

8/1~9/11の成績・卒業見込・在学証明書等の発行について《教務部学務課》

① 受付部署…就職部（就職関係）／学生部（就職関係以外）

交付願に、必要事項を記入の上、部数分の手数料の金額の証紙を貼付し、受付部署の受領印を受けてください。

② 発行部署…教務部学務課

受付部署で受領印を受けた交付願を、発行部署の教務部学務課に提出し、申し込んでください。

* 証明書申込から発行に要する期間について（下表参照）

申込（教務部学務課）		交付	申込（教務部学務課）		交付
月曜日～水曜日	9時～正午 正午以降	翌日正午 翌々日正午	8/5(木)	正午以降	8/16(月) 正午
木曜日	9時～正午 正午以降	翌日正午	8/6(金)	9時～正午 正午以降	8/17(火) 正午
金曜日	9時～正午 正午以降	月曜日正午 火曜日正午	9/9(木)	正午以降	9/11(土) 11時
			9/10(金)	9時～正午 正午以降	9/13(月) 正午
			9/11(土)	9時～正午	9/14(火) 正午

* 英文による証明書は、2週間程度の期間が必要となります。

追試験日程について《教務部学務課》
 試験時間割発表日時：9月15日(水) 正午
 試験日：9月16日(木)～17日(金)
 * 「追試験受験願」提出者のみ

夏季休暇期間中のサービス日時

各部署	7月	8月							9月																																
		25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2
各部署	教務部 教務課	平常どおり																																							
	教務部 学務課	平常どおり																																							
	就職部	9:00-16:00																																							
	国際交流室	9:00-16:00																																							
各学部	学生部 大学保健室	平常どおり(★) 平日 10:30-17:00 土曜 10:00-13:00																																							
	学生部 学生相談室	9:00-16:00																																							
	経済学部 雑誌・資料室	9:00-16:00																																							
	国文学科研究室	9:00-16:00																																							
サービス施設	文芸学部 英文学科研究室	平常どおり 平日 8:30-16:30 土曜 8:30-13:00																																							
	文芸学部 芸術学科研究室	9:00-16:00																																							
	文芸学部 文化史学科研究室	9:00-16:00																																							
	文芸学部 マスコミュニケーション学科研究室	9:00-16:00																																							
サービス施設	法学部 資料室	平常どおり(○) 月火水金 9:00-19:00 * 9:00-20:00/土 8:30-15:00																																							
	トレーニングセンター	10:00-18:00 受付は17:00まで 使用は17:30まで																																							
	情報センター オープン利用ルーム	平常どおり(●) 平日 9:00-19:00 土曜 9:00-13:00																																							
	図書館(開館時間)	平日 9:00-17:00 土曜 9:00-12:00																																							

図書館

利用時間	月～金	土
メインカウンター	10:00～17:00	9:00～12:00
B3書庫(出納時間)	10:00～16:30	9:00～11:30
レファレンスカウンター	10:00～17:00	9:00～12:00
AVゾーン	10:00～16:30 受付終了 16:00	9:00～11:50 受付終了 11:20

夏季休暇貸出本返却期限日：10/2(土)

学生相談室

- ★面接希望者は、事前に予約を入れた方が確実です。(03-3482-9086)
- ★夏季休暇中、医師による面接はありません。
- ★開室日の水曜日(※)の面接は12時から。



自転車・バイクの違法駐輪厳禁!!

本学では、バイク通学は禁止。また、自転車通学は許可シールを貼った上で、指定駐輪場に駐輪するよう、常に周知徹底をはかっていますが、残念ながら本学学生のもと思われる違法駐輪のバイク・自転車が相当数存在しており、近隣住民の方々や歩行者に大変な迷惑をかけています。学園に対する苦情も相次いでいます。学園周辺の道路は「自転車・バイクの放置禁止区域」です。

「ちょっとの間だから…」「時間がないからバイクで…」

「みんなも停めているから…」「こっちの方が部室に近いから…」

というような考え・行為は自分本位です。それが、人に迷惑をかけている、不快な思い・危険な目に合わせているということは、ちょっとの想像力で理解できるはずで

社会のマナー、人としてのマナーを身につけましょう!

父母懇談会開催のお知らせ

平成16年度の父母懇談会を下記の日程で開催いたします。

今年度も昨年と同様、進級問題や就職活動が重要となる学部2年生、3年生および短期大学部1年生、専攻科に在籍の保護者の方を対象として、全国規模で実施いたします。

当日は、学長および学部長から本学の近況報告を行うほか、教務(成績)・留学関係、就職や学生生活に関する相談会、また図書館やスポーツセンターの施設見学会を予定しております。

対象学年の保護者の皆様には、後日書面にてあらためてご案内申し上げます。

開催日 : 平成16年9月18日(土)

会場 : 大学7号館

平成16年度学事・行事暦

9月24日(金)	夏季休暇終了
25日(土)	後期授業開始
10月22日(金)	第55回四大学運動競技大会
23日(土)	会場:武蔵大学
24日(日)	*22日は休講
11月1日(月)	文化祭準備(休講)
2日(火)	学園文化祭一大学祭一
3日(水)	一文化の日一
4日(木)	文化祭後片づけ(休講)

各部署電話番号

教務部	教務課	03-3482-9045
	学務課	03-3482-9054
就職部		03-3482-9063
国際交流室		03-3482-9020
学生部	学生課	03-3482-9081
	大学保健室	03-3482-9085
	学生相談室	03-3482-9086
経済学部	雑誌・資料室	03-3482-9225
文芸学部	国文学科研究室	03-3482-9412 (文芸学部講師控室)
文芸学部	英文学科研究室	
文芸学部	芸術学科研究室	
文芸学部	文化史学科研究室	
文芸学部	コミュニケーション学科研究室	
文芸学部	3-071°文化学科研究室	
法学部	資料室	03-3482-9649
トレーニングセンター		03-3482-5790
情報センター		03-3482-2165
図書館		03-3482-3555

就職先(進路)が内定した方は、就職部へ内定届を提出して下さい。

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
平日 9:00-16:00 土曜 9:00-12:00					平常どおり 平日 8:30-16:30/土曜 8:30-13:00															
10:00-16:00					平常どおり(★) ※面接は12時から															
9:00-16:00 土曜9:00-12:00					平常どおり 平日 8:30-16:30/土曜 8:30-13:00															
9:00-16:00 土曜9:00-12:00					平常どおり(○)															
平日 9:00-18:00 土曜 9:00-14:00 但し12:00-13:00は昼休み閉室					10:00-18:00 受付は17:00まで 使用は17:30まで															
10:00-18:00 受付は17:00まで 使用は17:30まで					9:00-17:00 平日 9:00-17:00 土曜 9:00-12:00															
9:00-17:00					平常どおり(●)															
平日 9:00-17:00 土曜 9:00-12:00					平日 9:00-17:00 土曜 9:00-12:00															

後期授業開始

good!



ゴミは分別して
それぞれゴミ箱へ

※学生の皆さん一人ひとりがマナーを守り、快適でクリーンなキャンパス作りをしていきましょう。

作画...石上翔子(漫画研究会)



コミュニティ・カレッジについて

成城大学文芸学部は、創立50周年事業として、社会人を対象に公開講座「コミュニティ・カレッジ」を、10月2日（土）～12月20日（月）に実施します。
ご父母やお知り合いの方にご案内下さい。

会場：成城大学キャンパス内
授業料：授業料はどの講座も1回1,800円。
講座の授業回数分をまとめて納入。
申込み：右の一覧表をご覧ください。詳しいパンフレット（振込依頼書添付）をコミュニティ・カレッジ事務局までご請求ください。
入金（申込）確認後、受講票と案内を送付します。
募集期間内にお申込み下さい。

※募集期間 9月1日（水）～22日（水）

秋のオープンキャンパス開催

成城大学では、入学希望者のために、より確かな情報を直接発信するオープンキャンパスを、下記のとおり開催します。

後輩や、本学へ入学を希望する方が、いらっしゃいましたら是非お知らせ下さい。

10/3（日） 11/3（祝）

10：00～16：00

国語受験講座・英語受験講座・

入試説明会・個別相談など

～新学部の説明会も同時に開催します～

詳細は、HPのトップページ

「受験生」をクリック！

<http://www.seijo.ac.jp/>

コミュニティカレッジ《講座一覧》

- 01 戸部順一「ギリシア神話と女性たち」4回
- 02 堀内圭子「消費者の心理と行動」5回
- 03 宮崎修多「書誌学入門ー和本の魅力」5回
- 04 上野英二「古典を楽しむー『源氏物語』・『伊勢物語』の世界ー」4回
- 05 小林真由美「昔話と古代日本文学」6回
- 06 吉原健一郎「江戸の文化史」5回
- 07 工藤力男「初期萬葉集の世界」6回
- 08 岩田一正「学力問題と子ども虐待」4回
- 09 田中宣一「日本の祭り」4回
- 10 北山研二「ジャポニズムと19世紀後半のフランス」4回
- 11 有田英也「挿絵で読むフランス近代文化史」5回
- 12 高原照弘「いかに生きるかーデカルトからの答え」4回
- 13 杉本豊久「ドラマの英語 シャーロック・ホームズを楽しむ」5回
- 14 林田伸一「『三銃士』の時代を読む」5回
- 15 谷内田浩正「バレエの愉しみ～変貌する『白鳥の湖』」11回
- 16 富山典彦「ウィーンの笑い、笑いのウィーン」6回
- 17 木村建哉「ミュージカル映画の魅力」9回
- 18 鶴見良次「マザー・ゲースの謎」3回
- 19 小島孝夫「海の民俗ー資源利用の知恵ー」4回
- 20 小林義武「パッサと旅」4回
- 21 東山健吾（名誉教授）「敦煌壁画の物語」4回

～・詳しいパンフレットを事務局にご請求ください・～

連絡先：成城大学文芸学部コミュニティ・カレッジ事務局

メールアドレス ccollege@seijo.ac.jp

03-3482-9447（ダイヤルイン）

電話受付時間（8月は休み）

火～木 13:00～16:00

金 { 10:00～12:00
13:00～16:00

編集後記

●リニューアル2号目となる本号は、夏季休暇中の発行となるので、在学生全家庭に送付させていただいた。それにしても大学生の夏休みは2ヶ月と、本当に長い。筆者も学生時代、休み中は“ヒマ”を持って余し、有効に時間を使った、とは言い難かった。しかし、いざ卒業してみると、その2ヶ月など本当に短い、と実感するのだ。諸君もこの長いようで短い2ヶ月を有意義に、そして元気に過ごして欲しい。因みに筆者の休日は、快適な空間“映画館”通いである。映画の古典は、フィルムセンターや名画座（もはや死語か？）に通うのもよいが、我が成城大学図書館にも豊富に揃っていますので、どうぞご利用を。（T）

●時間があると大学の中庭を見渡す。立て看板を見るためだ。もちろん、どんなイベントがあるのかなあという「学生生活」の情報を得ることが第一の目的なのだが、それよりも、芸術性の高い看板、工夫を凝らした看板、かわいい看板…など、情報を伝えるための表現の文化や情報発信者の心意気が感じられるから中庭に出たくなるのだ。いい看板に出会うと元気になる。（R）



～今号の表紙～

チャリダーに「学生生活」を応援してもらいたいという思いから、撮影協力をお願いした。体連総会のリハーサル。サウナのような50周年記念講堂で。

撮影：下村みさ（学生部）

学生生活 204号

発行日 平成16年8月1日

編集・発行 成城大学・成城大学短期大学部 学生部
〒157-8511 世田谷区成城6-1-20

編集責任者 上野

編集 中村・高田・山本・栗本

印刷 株式会社 芳文社